

令和5年度 スポーツ課事業実績

□生涯スポーツ関係 ※ 公益財団法人福島県スポーツ協会が事業実施主体となります。

項目	事業	事業内容	実績
推進体制の整備 関係団体の育成	ふくしま広域スポーツセンター事業等の充実 (基金助成事業)	総合型地域スポーツクラブの創設・育成・定着をはじめ広域市町村圏のスポーツ活動を支援する。	※
	(公財)福島県スポーツ協会の組織強化活動支援	スポーツ振興の中核団体である(公財)福島県スポーツ協会へ職員を配置し、福島県スポーツ協会組織体制の強化と生涯スポーツ振興事業を推進する。	※
	スポーツボランティア事業 (基金助成事業)	スポーツボランティア関連事業に対して支援する。	
指導者等の養成・確保と活用	スポーツふくしま普及啓発・住民参加事業	市町村や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、地域競技団体などの実務担当者に対するセミナーの実施や、子どもたちの夢・希望を育むスポーツイベントの県内各地での開催、スポーツボランティアの更なる育成による「ささえるスポーツ」文化の普及により、新たな「福島県スポーツ推進基本計画」に基づく生涯スポーツ活動の促進を図る。	
	地域スポーツ推進会議の開催	市町村をはじめとした各関係団体を対象に、先進的な取組を行う総合型地域スポーツクラブの好事例を紹介するセミナーを開催するとともに、地域スポーツの受け皿となる総合型地域スポーツクラブの体制整備をテーマに分科会を実施し、課題と対応策について議論する。	4月19日(水) セミナー形式 58名 7月19日(水) 分科会形式 59名 9月28日(木) オンライン形式 42名
	(新)総合型地域スポーツクラブ支援アドバイザー派遣事業	生涯スポーツ社会の実現を図るため、誰もがいつでも参加できる総合型地域スポーツクラブの新たな創設から育成までを一体的にアドバイスできるクラブアドバイザーを配置する。	クラブ訪問 令和5年7月 ～令和6年3月
	令和5年度福島県スポーツ推進委員研究大会の実施等 (基金助成事業)	福島県スポーツ推進委員研究大会や女性スポーツ推進委員、新任スポーツ推進委員の研修会等を通し、資質の向上を図る。	研究大会喜多方市 10月20日～21日 女性研修 6月5日 99名 新任研修 6月22日 名
	福島県総合スポーツ大会 県民スポーツ大会の開催	県総合スポーツ大会の一部門として、一般県民が気軽に参加できる地域大会を開催し、地域スポーツの振興を図る。	
振興事業の拡充	スポーツふくしま普及啓発・住民参加事業	市町村や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、地域競技団体などの実務担当者に対するセミナーの実施や、子どもたちの夢・希望を育むスポーツイベントの県内各地での開催、スポーツボランティアの更なる育成による「ささえるスポーツ」文化の普及により、新たな「福島県スポーツ推進基本計画」に基づく生涯スポーツ活動の促進を図る。	
	輝け未来へ！スマイルスポーツ教室 in ふくしま	オリンピック・パラリンピック競技種目をはじめとした関心の高い種目のスポーツ体験教室の開催により、スポーツを楽しみながら、トップアスリートの技能を見たり、これまでの経験を聞く機会を設ける。子どもたちに笑顔を届け、更なるスポーツ活動への参画を促すとともに、夢や希望を育みながら、未来へ挑戦するきっかけを提供する。	5月21日 スカイスports教室 親子 79組 158名 7月16日 フレイクダンス 47名 10月22日 アーチェリー 54名 11月26日 アイススケート 30名
	スポーツボランティア・レガシー事業	県内各地のスポーツイベントを支えるスポーツボランティア育成に向けた研修会を開催するとともに、イベントの主催者に対して、スポーツボランティアを活用したイベント運営についてのセミナーを開催することで、将来にわたってスポーツボランティアが活躍する文化を醸成することを目的とする。	初任者研修 3回 144名 実践研修 10名 リーダー研修 15名
	ふくしまレクリエーションフェスタ2023 (基金助成事業)	広く県民にスポーツ・レクリエーションの場を提供することにより、県民のスポーツ・レクリエーション活動を一層促進し、健康で明るく潤いのある県民生活の実現に資する。	福島市 8月～10月
	スポーツ情報提供の充実 (基金助成事業)	県民のスポーツニーズに応え、スポーツ施設・指導者・仲間・イベント・健康相談等の情報を広報紙やホームページにより発信し、広く生涯スポーツ関連情報を提供する。また、プロスポーツの情報等も随時提供する。	年間随時 ※
	諸調査の実施	市町村活動状況、公共社会体育・スポーツ施設、体力・運動能力等について調査し、実態を把握する。	
	生涯スポーツ関係表彰	文科省・スポーツ推進委員・県等の表彰について調査・把握し、推薦する。	
	大会・イベント等の共催・後援	各種競技会の共催や後援により、円滑な大会運営とスポーツの振興に資する。	

□ 競技スポーツ関係

※ 公益財団法人福島県スポーツ協会が事業実施主体となります。

項目	事業	事業内容	実績
組織の整備・拡充	(公財)福島県スポーツ協会組織強化事業	(公財)福島県スポーツ協会の運営に対し、補助金の支出や職員を配置し、組織体制の強化と競技スポーツ事業を推進支援する。	競技スポーツ担当 6名配置
競技スポーツ振興事業の充実	福島県総合スポーツ大会の開催	国民体育大会・東北総合体育大会予選会等の開催を主催する。	7月8日～10日(主会期) 14,388名(1/11現在)
	国民体育大会・東北総合体育大会への派遣	国民体育大会・東北総合体育大会へ役員・監督・選手を派遣する。	8月18日～20日(主会期) 岩手県 884名 10月7日～17日(主会期) 鹿児島県 472名
	各種競技会等の共催・後援	各種競技会の共催や後援により、円滑な大会運営とスポーツの振興に資する。	競技スポーツ関係
	スポーツふくしまビルドアッププロジェクト	国体等で上位入賞できる県内競技団体の「強化」に加え、キッズ・ジュニア世代の重点的な「育成」、潜在能力が高く将来性のある選手の「発掘」に取り組み、「発掘・育成・強化」の一体的な推進による持続的な競技力の向上を図る。	
	国体強化支援事業	国体等での入賞を目指し、県内競技団体がアドバイザーコーチやロールモデルコーチを招聘し強化練習会等を実施するための費用を支援することで本県選手の競技力の向上を図る。	38競技団体に補助 ※
	リアライズスポーツ強化指定事業	東京2020オリンピックを通して本県と関わりが深く、競技力向上に資することが期待される団体種目の少年種別を指定し、更なる強化を図る。	3競技6種目に補助 ※
	拠点スポーツサポート事業	各競技の強化拠点地域内のキッズ・ジュニア選手の活動を集中的に支援することで、効果的・効率的に発掘・育成・強化を図り、持続可能な強化体制づくりに資する。	8競技団体に補助 ※
	ジュニアアスリート強化指定事業	少年種別の強化の中心的な役割を担う高校・中学校・クラブチーム・ジュニア選手に対して、競技団体と連携を図りながら活動を支援する。	36競技団体に補助 ※
	ネクストアスリート支援事業	国際的な大会等での活躍を目指す若手アスリートに対し、JOC及び中央競技団体等が実施する強化練習会や国際大会などへの参加や医・科学的サポートに要する費用を支援する。	18名に支援 ※
	リーディングコーチ養成事業	競技団体の持続可能な強化体制を推進していく上でけん引役を担う指導者を養成する。	14名に支援 ※
	冬季国体強化支援事業	国体等での入賞を目指し、冬季競技団体がアドバイザーコーチやロールモデルコーチを招聘し強化練習会等を実施するための費用を支援することで競技力の向上を図る。	3競技団体に補助 ※
	ふくしまシャイニングスタープロジェクト	将来、国民体育大会や国際大会での活躍を希望する中学生に対して発掘テストを実施し、将来性があるアスリートを発掘する。	2競技団体に補助 ※
	地域連携型人材育成事業(双葉地区教育構想)	バドミントン競技とレスリング競技において、国内トップレベルの指導を展開するための専任コーチを招聘し、中高連携の一貫した指導体制を構築し、世界で活躍する優秀な選手を育成する。	バドミントン競技 2名 レスリング競技 1名 ※
ふくしまスポーツキッズ発掘事業(基金助成事業)	将来有望なジュニア層を対象に共通した理念や指導に基づいたトレーニングを実施し、競技に適した人材(タレント)の発掘とその育成・強化を図る。	体験プログラム 19競技 21種目 延べ 473名 ※	
ふくしまゴルフプロジェクト(地域政策課事業)	地域資源のゴルフ場を有効活用し、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会と連携を図りながら、ゴルフ人材の育成やゴルフを通じた交流拡大を図る。	高校出前講座延べ 1051名 スナッグゴルフ教室 67名 ジュニアゴルフ塾 16名 指導者養成講習会 19名 (12/31現在) ※	

□ 障がい者スポーツ関係

☆ 公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会が事業実施主体となります。

項 目	事 業	事 業 内 容	実 績
福島県障がい者スポーツ協会運営費補助	福島県障がい者スポーツ協会運営費補助金	本県の障がい者スポーツの振興を推進する中核的組織である協会に対し、その円滑な運営を期するため運営費の一部を助成する。	
障がい者スポーツの振興	全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業	全国障害者スポーツ大会へ選手団を派遣し、競技等を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進を図る。	
	全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業	全国障害者スポーツ大会に選手団を派遣する。	10/28～10/30 鹿児島県 9競技 58名派遣
	北海道・東北ブロック予選会開催事業	全国障がい者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会の一部競技(知的サッカー競技)を開催する。	6/17・6/18 福島市 6チーム 95名
	スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト	本県のパラスポーツ(障がい者スポーツ)について、出前講座や体験ブース出展の実施等による「魅力発信」と、県内の大学等と連携した支援者育成や用具貸出等による「環境整備」を両輪で推進し、スポーツをきっかけとしながら、多様性の理解に溢れ誰もが活躍することができる共生社会の実現を目指す。	
	ステップアップ×魅力発信	学校、市町村、総合型地域スポーツクラブを始めとした様々な団体からの要望に応じたパラスポーツ競技の体験教室などの実施や、県内で行われるスポーツイベントやプロスポーツチーム公式戦等におけるパラスポーツ体験ブースの出展などにより、広く県民に対しパラスポーツの魅力を発信する。	○出前講座・体験会の開催 年間75回・4,000名参加(見込)ポッチャ、車いすバスケ等 ○体験ブース出展 8回出展(プロスポーツチーム公式戦等) ○デフリンピック機運醸成機運醸成事業デフリンピックフェスティバル開催(11/12)等
	ステップアップ×環境整備	県内の大学等と連携し、パラスポーツを支える人材育成に向けた講習会を実施するとともに、パラスポーツにかかる用具貸出等を行い、障がいがある人もない人も一緒にスポーツを身近な場所で楽しめる環境を整備する。	○スポーツ用具貸出 年間30件(見込)ポッチャセット、競技用車いす等 ○支援者(サポーター)育成講習会の開催 県内の3大学等(医療創生大・福島医大・郡山健康科学専門学校)にて実施
	障がい者スポーツ振興事業	障がい者スポーツの振興による障がい者の福祉向上を図るため、県障がい者総合体育大会の開催や指導者の養成を行うとともに、障がい者が安心してスポーツに取り組める環境整備等を障がい者施策を総合的に推進する。	
	福島県障がい者スポーツ大会開催事業	福島県障がい者スポーツ大会を開催する。	5/14・5/21 いわき市 他 11競技 772名
	初級指導員養成講習会開催事業	障がい者スポーツの振興を図るため、初級指導員養成講習会の開催	12/3・12/9・12/10 郡山市 21名
	(障がい者スポーツ振興・育成事業)運動導入教室開催事業	障がい児には遊びを通して体を動かすことの喜びを、在宅障がい者には積極的なスポーツ活動を通して社会参加・自立・復帰を促進するとともに選手発掘の機会とする。	【実施見込】 福島市 40回 延べ 250名 郡山市 55回 延べ 300名
	(障がい者スポーツ振興・育成事業)種目別スポーツ教室開催事業	種目別スポーツ教室 障がい者が運動スキルの基礎を楽しく身に付け、得意分野を発見できるように様々な種目のスポーツ教室を開催する。	【実施見込】 10競技 延べ 800名
	(障がい者スポーツ振興・育成事業)各障がい者スポーツ大会支援事業	各障がい者スポーツ団体が県内において開催する各種競技大会の開催経費の一部を助成する。	4団体助成
	(障がい者スポーツ振興・育成事業)パラスポーツ指導員養成事業(資格取得)	障がい者スポーツ指導者の中・上級者資格やトレーナー資格等の取得に必要な各種講習会の受講支援を行う。	
(障がい者スポーツ振興・育成事業)ふくしまネクストアスリート支援事業	今後の本県障がい者スポーツを担う選手を指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や国際大会に参加する費用の支援を行う。	15名指定(見込)	
(障がい者スポーツ振興・育成事業)団体競技強化支援事業	県代表団体競技チームが強化合宿や練習会を実施する場合に必要な費用を助成する。	2団体助成	

□ 東京オリンピック・パラリンピックのレガシー関係

項 目	事 業	事 業 内 容	実 績
東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連事業の推進	東京 2020 オリンピック・パラリンピックレガシー事業	復興五輪として開催された東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承し、スポーツによる交流人口の拡大と継続的な情報発信等により本県の復興の加速化を図る。	
	あづま球場聖地化事業	東京オリンピック・パラリンピック競技大会で生まれたレガシーの継承及び定着に向け、あづま球場における各種大会の誘致や他県等との交流事業の開催、都市ボランティアの活動機会の提供等に取り組む。	<p>○女子野球 GIANTS 杯の開催(5/5～5/6 あづま球場他)</p> <p>○日米対抗ソフトボールの開催(8/6 あづま球場)</p> <p>○JD リーグの開催(9/2～9/3 あづま球場)</p> <p>○古閑裕而氏野球殿堂入り記念全早慶野球戦福島大会の開催(11/26 あづま球場)</p> <p>○ボランティア活動(6回、延べ 156 名参加)</p> <p>○交流会(1/21、44 名参加)</p> <p>○スポーツを通じた被災地交流事業の開催(8/5～8/6 あづま球場他、102 名参加)</p>
	レガシードリームプロジェクト	オリンピック・パラリンピアンとの交流イベント等を実施し、子どもたちの夢や希望をはぐくむ。	<p>○ドリームミーティング(11/11 あづま球場、499 名参加)</p> <p>○JD リーグでのスポーツ体験ブース出展(9/2～9/3 あづま球場、477 名参加)</p>